

あおばファイナンシャルプランナーズ 代表

倉田春彦のFP通信

秋のご挨拶

「成長型経済」

for Executives



NHK連続テレビ小説『虎に翼』の作中、終戦後の新憲法下で華族制度の廃止と財産税により、それまで保証されていた身分と財産の多くを失い苦しい状況に立たされた旧華族の苦悩が描かれていました。今となっては華族制度の廃止など当然の成り行きといった印象ですが、当時は旧華族ほか多くの国民にとっても従前の社会常識を覆す大変化だったに違いありません。

このように私たちの価値観や行動を大きく揺さぶる変化は過去の歴史のなかだけのものではありません。現在もさまざまな変化が日常的にそそいつの間にか起こっています。たとえばタワーマンションの出現は人々の目を郊外からかつてなら自分が住まいを構えようとは思わなかった都心やごく駅近エリアに向かわせた(逆ドーナツ化現象)といわれます。これはより劇的でしたがコロナ禍を経て在宅ワークやオンライン会議がすっかり定着し、以前は圧倒的に主流だった出社や対面での会議や商談が今では選択肢のひとつになった印象です。

目下私たちの身近で起こりつつある、そして皆さまが注視する変化のひとつは物価と金利の上昇でしょうか。

「物価と金利と攻めの備え」

高くなったら買わないという選択肢はありますが、食品など生活必需品の場合はそういきません。もしこうした品目の価格(体感物価)が毎年3%上昇し続けるとどうなるでしょう。給与が同程度上昇すれば一見問題なさそうですが、物価上昇の影響により預金など手元資金の実質的な価値は約20年で半分近くまで減ってしまう計算になります。懸命に貯蓄しても価値が減ってしまうなんて切ないですね。手元の蓄えが大きな頼みの綱となる老後ステージなどの方にとっては大打撃です。

先日「老後に備えてためた金融資産が、80歳を過ぎても平均で1~2割しか減っていないことが内閣府の分析で

判明」(日経新聞、2024/7/29)と報じられました。月々の収入増が期待できないから、せめて手持ち資産は大切に守りたいという気持ちの表れかもしれません。

一方で節約に取り組むだけでなく、値上がり前にと先んじて購入に踏み切る動きや資産運用においては、去る8月の歴史的な株式相場の下落にもかかわらず「預貯金で資産が守れるデフレ時代は終わった」とさまざまな資産運用手段の研究に余念がない方が増えています。

先ごろ日本の家計金融資産が1997年12月末から今年3月末の間に約7割増えた一方で米国の家計資産は約20年で3倍に増えたと報じられました。(日経新聞、2024/8/7)どちらの国が豊かなのかは一概には申せませんが、この差には物価上昇と金利の有無、そして資産運用方法の違いが大きく関与しているようです。

これからは個々の事情に合った資産運用の多様化、そしてこれまでの「待っていればその内安くてもっといいものが」から「値段や金利が上がる前に」など先手を意識した攻めの備えに舵を切る人が一層増えてきそうな気配です。これは最近の設備投資額の増加傾向を見ても分かる通り企業活動についても同じことがいえます。

これからの備えについて一緒に考えてみませんか。



フリーコールまたはQRコードをスキャンの上、HPのフォームよりお気軽にお問い合わせください。

あおばファイナンシャルプランナーズ 0120-922-114

受付時間/平日9:00~18:00



「乗合バスの魅力」～ 紙上乗合バスの旅～

バスを乗り継ぎ寄り道旅をするTV番組があります。しかし、いわゆる「乗り鉄」はよく耳にしますがバスではそういう話をあまり耳にしないように感じませんか。

ふと気になり乗合バスについて調べてみました。現在乗合バスの許可キロは全国で約58.9万kmとJR・私鉄を合わせ約3万kmとされる鉄道路線の総延長の約20倍におよびます。鉄道では2003年にある男性が日本の鉄道全線全駅9,649駅(当時)を制覇したと報じられましたが、バス停の数は鉄道の駅数を遥かに凌ぎます。そんな桁違いの乗合バスですから、鉄道にも劣らない魅力があるとやはり鉄道同様に愛好者がいらっしやるようです。

(出典:公益財団法人日本バス協会「日本のバス事業」2022年度版(令和4年度))

知る人ぞ知る

乗合バスには“最寄り駅まで”や“短距離”という印象をお持ちの方が少なくないかもしれませんが、全国には数時間の道のりを走る路線もあります。乗合バス(高速道路を利用しない)のなかで走行距離が長い路線をと調べてみると、奈良交通の大和八木駅～新宮駅間の約169.9kmを約6時間半かけて結ぶ八木新宮線が見つかりました。

長時間の乗合バスは体力的にも大変そうですが、このバスに乗るために全国からファンが訪れるそうです。記念乗車証や全168の停留所と沿線の見どころを紹介した路線図も人気だそうです。(出典:奈良交通ホームページ)

山間部などなかには1日数便しか運行されていない路線がありますが、調べるとさらに運行本数が少ない路線もあります。たとえば近江鉄道の「立命館大学京都線」は

なんと年に1便片道だけ運行される「幻の路線バス」としてファンの間で知られます。しかも60年以上の歴史を持つ路線だそうです。探すとほかにも「海の日にだけ1往復」や「1週間に1便」といった路線もありますよ。

珍バス停

「お祭」や「ときめき」といった素敵な名前や「〇〇さん宅前」「叔母様」「冷蔵庫前」など初めて目にしたら窓からバスの外をきょろきょろと見まわしてしまいそうな名前、さらに30文字を超えるような標識にどう表示されているのだろう?と思うほど長い名前のバス停もあります。

また、長崎県にはイチゴ、ミカン、スイカ、メロンなどを模した可愛いバス停もあります。

全国に張り巡らされた乗合バスの路線網にはほかにももっともっとたくさんの驚きが隠れているかもしれません。この秋には機会があればぜひ乗合バスもご利用になってみてください。地球温暖化対策にも一役買えそうです。



こんな時はご連絡ください

適切なサービスや情報を提供し、皆さまをお守りするために、次のようなときは私にご連絡ください。

●各種手続きや保障内容の見直しなどの相談や問い合わせ

- 契約内容・保障内容の確認・見直し
- 老後資金や相続に関する相談
- 医療費や介護費用の心配
- 保険金や給付金の請求について
- 入退院や手術の予定
- 災害や事故などに遭遇されたとき

- 身近な方のご結婚・ご出産・入進学
- 転居・転職・起業の予定
- 事業拡大や事業承継の計画(法人様)
- 福利厚生制度・役員の保障の相談(法人様)
- 紹介して欲しい人・提供して欲しい情報がある

●その他

疑問や不安に感じていること、近況なども気軽にお聞かせいただければ幸いです。また、私がお役に立てそうな方がいらっしやいましたらぜひご紹介ください。

あおばファイナンシャルプランナーズ

Haruhiko Kurata
倉田 春彦

info@aobafp.jp

(事務局)

〒227-0062

横浜市青葉区奈良4-1-1-F608

フリーダイヤル 0120-922-114 (平日9:00 - 18:00)

aoba fp
financial and life consulting

